

111
NEW

独学までの道案内！C#入門～Windowsフォームアプリの開発ナビ

研修概要	C#の構文の解説と並行して、Windowsフォームアプリの開発を実践することで、画面という目に見える形で継承やポリモーフィズムも実感できます。また、イベントやイベントハンドラーが初めての受講者にも適しています。Formを継承したクラスが何もコーディングしなくても複数の機能を備えた状態にあることや、ボタンもラベルもすべて同じControl型として扱えることから、継承やポリモーフィズムを目で見て実感でき、メリットを理解することができます。他にList<型>やDictionary<Key型, Value型>を通して、Key-Value方式も含めた開発者に必要なライブラリの利用も身に付きます。				
開催予定	2025年	10月20日(月) ～ 10月21日(火)	受講料 (税抜)	¥65,000	
日数	2日間	総時間数	12時間	開講時間	9:30 ～ 16:30 / 昼休憩 12:30 ～ 13:30 (60分)
研修会場	福岡市博多区博多駅前2-11-16 第二大西ビル4F 401号室 株式会社福岡ソフトウェアセンター 福岡研修室				
対象者	何らかのプログラミング言語を学習したことがある方				
到達目標	・C#言語の基本構文が一通り習得できている。 ・Windowsフォームアプリケーションの制作方法がわかっており、マニュアルや本で独力で画面や制御部分を作成できる。 ・抽象クラスやポリモーフィズムなどオブジェクト指向ならではの構文の用途が腑に落ちている。				
使用教材	・Visual C# 2022 パーフェクトマスター ・講師オリジナル教材 (引数とポリモーフィズム)				
カリキュラムの詳細					
1日目	変数の型変換、フィールド、メソッド		Visual Studioでコンソールアプリケーションを作って型変換を学ぶ。		
	初めてのWindowsフォームアプリケーションと税込み会計計算アプリ作成		Formクラスを継承した画面に最初から備わっている機能を体験する。ボタンやテキストボックスの配置、初めてのイベントハンドラーclass修飾子partialと編集してはいけないファイル。		
	enum型の学習とメッセージボックス実装		OK/Cancelボタン等のメッセージボックスの表示と、ユーザーが押したボタンによって処理を変化させるWindowsフォームアプリの制作。		
	配列とループの紹介		配列名.Lengthやforeachなどの習得を行う。		
2日目	復習ーTextBox1等フィールド宣言位置		プログラマーが編集してはいけないファイルに宣言されている。		
	ボタンやチェックボックスなど画面部品の親の抽象クラスとポリモーフィズム		ボタン、テキストボックス等すべての画面部品をControl型として扱い一斉にメソッド呼び出しを行うアプリケーションの制作。		
	リストとDictionaryの活用、ジェネリック		便利配列としてのListでジェネリックを学び、Dictionaryクラスで、Key-Value形式のコレクションの習得を行う。		
	構造体と値型、クラスと参照型		構造体とクラスの違い、改めて値型と参照型の違いを習得する。		
	メニューの実装		Windowsフォームアプリの画面上部に選択できるメニューを実装し、メニューを選択したら動作するイベントハンドラーの実装も行う。		
関連講座					

※最低開催人数は4名とさせていただきます。開催可否は、開催日の2週間前までにご連絡させていただきます。

※改善のためカリキュラムは予告なく変更させていただくことがあります。